

学年	高校 2 年	教科	数学科	科目	数学 B	単位数	3
教科書名		数学 B（数研出版）		副教材名	サクシード数学Ⅱ+B（数研出版）		
コース・クラス		選抜・N 進文系					

I. 目標

数学の基本的な原理や法則を理解させ、知識の習得と技能の習熟を図る。また、それらを的確に活用する能力と態度を育てる。教科書問題に取り組むことで基本技能を確実に習得し、論理的な思考と問題解決の仕方を修得することを目指す。

II. 授業のねらい

- 1章 数 列 … 簡単な数列とその和及び、漸化式と数学的帰納法について理解させる。また、それらを用いて事象を数学的に考察させる。
- 2章 統計的な推測… 統計的な推測を行うための基礎となる確率分布について、基本的な概念や演算を理解させる。

III. 授業の進め方

- 教科書を中心に授業を展開する。また、日本大学基礎学力到達度テストに向けて、出題されている問題を中心に扱う。
- 単元ごとに小テスト実施し、定着の度合いを図る。
- 状況に応じて問題集等の副教材を使用する。

IV. 学習上の留意点

- 教科書、授業用ノート、問題集、問題集用ノートを必ず用意して授業に臨むこと。
- 定期試験の返却後、間違えた問題を確認し、復習を必ず行うこと。
- 提出物の期限は必ず守ること。

V. 定期試験

教科書と問題集の内容を中心に幅広く出題する。また、模擬試験レベルの問題も出題する。

- 1学期 中間試験 : 数列
- 1学期 期末試験 : 数列・数学的帰納法
- 2学期 中間試験 : 確率分布
- 2学期 期末試験 : 確率分布・統計的な推測
- 3学期 学年末 : 数列・統計的な推測

VI. 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物の提出状況と内容、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	1 章 数列 1 節 数列とその和	定期試験 小テスト 提出物	・数列の意味と基本的な用語が理解できる。 ・等差数列の和や一般項が求められる。 ・等比数列の和や一般項が求められる。 ・和の記号Σを扱える。 ・階差数列から一般項が求められる。 ・群数列の第 n 群の総和が求められる。 ・基本的な漸化式が扱える。 ・数学的帰納法を理解して、等式や不等式の証明ができる。
	5			
	6	2 節 数学的帰納法		
	7			
二学期	9	2 章 統計的な推測 1 節 確率分布	定期試験 小テスト 提出物	・確率変数と確率分布が理解できる。 ・分散と標準偏差が求められる。 ・確率変数の和と期待値が理解できる。 ・独立な確率変数と期待値・分散が理解できる。 ・二項分布が理解できる。 ・正規分布が理解できる。
	10			
	11	2 節 統計的な推測		
	12			
三学期	1	数学 B 総復習 (基礎学力到達度テスト対策)	定期試験 小テスト 提出物	・数学 B 全範囲の基本問題が扱える。
	2			
	3			

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。